

富岡製糸場と 絹産業遺産群 国際シンポジウム

2011年10月31日(月)13:20～16:20(開場13:00)
群馬県公社総合ビル多目的ホール(前橋市大渡町1-10-7)

入場無料

要申込・先着順
定員300名

◎ 世界遺産の保存活用と地域住民の役割

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は平成19年1月に日本の世界遺産暫定一覧表に記載されました。世界遺産条約の目的は顕著な普遍的価値を有する文化遺産や自然遺産を、保護、保全、公開して、将来の世代に伝えていくことです。世界遺産登録が実現する前から、私たちの遺産を愛し、守っていくことが重要なのです。そのために、どのような活動をしていけばよいのでしょうか。

プログラム

- 13:20 開会・あいさつ
13:30 講演「私たちの遺産は世界の遺産」
THE WORLD OF OUR HERITAGE - OUR HERITAGE FOR THE WORLD
○ 講師：タマシュ・フェヤルディ
14:00 講演「日本の世界遺産を巡る状況」
○ 講師：小林万里子
14:30 報告「第3回国際専門家会議の成果」
○ 岡田保良 国士舘大学教授(群馬県世界遺産学術委員会委員長)
14:50 パネルディスカッション「世界遺産の保存活用と地域住民の役割」
○ コーディネーター：荻谷 勇雅<日本イコモス国内委員会理事>
○ パネリスト
タマシュ・フェヤルディ
ディヌ・ブンバル
マッシモ・プレイテ
岡田 保良
松浦 利隆<群馬県企画部世界遺産推進課長>
16:20 閉会

プロフィール



Tamás Fejérdy (タマシュ・フェヤルディ)

- ・イコモス ハンガリー事務局長
- ・ハンガリー文化遺産室副室長
- ・元国際イコモス副会長
- ・世界遺産委員会議長経験者



小林 万里子 (こばやし まりこ)

- ・文化庁記念物課世界文化遺産室長



Dinu Bumbaru (ディヌ・ブンバル)

- ・イコモス・カナダ会長
- ・ヘリテージ・モントリオール 財団政策部長
- ・元国際イコモス事務局長



Massimo Preite (マッシモ・プレイテ)

- ・ティッキ (国際産業遺産保存委員会) 理事
同イタリア代表
- ・イタリア産業考古遺産保存協会副会長
- ・フィレンツェ大学都市計画学科教授

■ 主催：群馬県・文化庁 ■ 後援：日本イコモス国内委員会／財団法人 群馬県蚕糸振興協会／上毛新聞社／日本放送協会前橋放送局／群馬テレビ株式会社
株式会社エフエム群馬／シルクカントリーぐんま連絡協議会／富岡製糸場世界遺産伝道師協会

■ 問い合わせ先：群馬県企画部世界遺産推進課 TEL:027-226-2328 FAX:027-224-2812 E-mail:sekaiisan@pref.gunma.jp ※申込方法は裏面を御覧ください。